# 2022年度 授業シラバスの詳細内容

| ○基本情報 | | | |
|---|---|---|---|
| 科目名 | 特別支援教育論（Special Support Education Theory） | | |
| ナンバリングコード | K20112 | 大分類 / 難易度<br>科目分野 | 教職科目 / 標準レベル |
| 単位数 | 2 | 配当学年 / 開講期 | 2 年 / 前期 |
| 必修･選択区分 | 教職関係科目（必修）<br><br>※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。 | | |
| 授業コード | K007301 | クラス名 | － |
| 担当教員名 | 中尾　正彦 | | |
| 履修上の注意、<br>履修条件 | 教員免許を取得したい学生は必ず受講してください。<br>授業には積極的･主体的に臨むとともに、講義中のスマートフォンの使用、私語、居眠り、無断での途中退室など、教員になるのに相応しくない行為は厳禁です。講義には毎回出席し、やむを得ない欠席や遅刻等は事前の連絡をするなど、「報･連･相」を身に付けましょう。 | | |
| 教科書 | 「インクルーシブ教育時代の教員をめざすための特別支援教育入門」 大塚玲編著　萌文書林 2019 | | |
| 参考文献及び指定図書 | 授業中に必要に応じて随時指示します。 | | |
| 関連科目 | 教育相談、教育心理学、生徒指導、その他教職課程科目 | | |

| ○成績評価の指標 | | ○成績評価基準（合計100点） | | |
|---|---|---|---|---|
| 到達目標の観点 | 到達目標 | テスト<br>（期末試験･中間確 | 提出物<br>（レポート･作品等） | 無形成果<br>（発表･その他） |
| 【関心･意欲･態度】 | 授業内容に興味関心をもち、意欲的な態度で学ぶことができる。 | | 5点 | 5点 |
| 【知識･理解】 | 授業中の講話、配付資料等の内容について、正確に理解することができる。 | 30点 | | |
| 【技能･表現･<br>コミュニケーション】 | 授業で扱った内容を自分なりの言葉で適切にまとめ、文章で表現することができる。<br>グループディスカッション等に主体的に参加することができる。 | | 10点 | 10点 |
| 【思考･判断･創造】 | 授業内容から、幼児児童生徒への指導･支援について、自分なりに思考し、創造することができる。 | 30点 | 10点 | |

**○成績評価の補足（具体的な評価方法および期末試験･レポート等の学習成果･課題のフィードバック方法）**

○毎回レポート課題を実施し、評価に加味する。評価基準は以下の通り。
A　授業内容をよく理解し、振り返りながら自分の意見等も述べることができている。
B　授業内容をよく理解し、振り返ることができている。
C　授業内容をだいたい理解し、振り返ることができている。
D　授業内容を一部理解し、振り返ることができている。
レポートは次回以降の授業の際に返却する。
なお、レポートには質問や要望、意見等も書くことができるようになっている。遠慮せずに書いてほしい。
○基本的な用語についての理解度を測る、中間確認としての「小テスト」を実施する（20点分）。評価基準はレポートと同様。

| ○基本情報 | | |
|---|---|---|
| 授業の目的 | 特別支援教育に関する専門性の習得をめざし、以下の到達目標を達成することを目的とする。<br>1．特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒の障害の特性及び心身の発達を理解する。<br>2．特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する特別の教育課程や支援の方法を理解する。<br>3．障害はないが特別の教育的ニーズのある幼児、児童及び生徒の困難とその対応を理解する。 | |
| 授業の概要 | 特別支援学校、特別支援学級、通級指導教室及び通常学級に在籍する様々な障害（発達障害や知的障害など）のある幼児、児童及び生徒の学習上又は生活上の困難を理解し、個別の教育的ニーズに対応するために必要な知識や支援方法について学ぶ。 | |
| 授業の運営方法 | （1）授業の形式 | 「講義形式」 |
| | （2）複数担当の場合の方式 | 「該当しない」 |
| | （3）アクティブ･ラーニング | 「ディスカッション、ディベート 」 |
| 地域志向科目 | 該当しない | |
| 実務経験のある教員による授業科目 | 学校現場での教員経験（特に特別支援教育コーディネーター、教育相談、生徒指導）及びスクールカウンセラーの経験を活かし、この授業では、障害や特別な教育的ニーズのある幼児児童生徒の特性や困難及び支援のあり方を理解するとともに、幼児児童生徒への直接支援はもとより保護者や関係者･機関との連携のあり方等について、専門的知識及び実践的指導力を身につけさせたい。 | |

**○その他**

･教職必修科目です。他の教職課程科目も履修していることが履修条件となります。
･教員を目指す人を支援するために、期末試験は教員採用試験に出題されるレベルの問題となりますので、そのつもりで履修し、学習を深めてください。

# 2022年度 授業シラバスの詳細内容

| ○授業計画 | 科 目 名 | 特別支援教育論（Special Support Education Theory） | 授業コード | K007301 |
|---|---|---|---|---|
| | 担当教員 | 中尾　正彦 | | |

**学修内容**

**1. 特別支援教育の理念と制度**
○特別支援教育の理念について理解する。
○特別支援教育の仕組みについて理解する。
○インクルーシブ教育システムについて理解する。

| | | |
|---|---|---|
| 予習 | 特別支援教育について、経験から考察したり、調べたりしておく。教科書の該当個所（pp.10-23）を読んでおく。 | 約2時間 |
| 復習 | レポート課題に取り組むとともに、再度教科書や資料等を読み直し、必要事項をノートに整理する。 | 約2時間 |

**2. 通常学校における特別支援教育の仕組み**
○特別な教育的支援を必要とする子どもについて理解する。
○特別支援教育を支える仕組みを理解する。

| | | |
|---|---|---|
| 予習 | 教科書の該当箇所(pp.24-35)及び配付資料を予習しておく。 | 約2時間 |
| 復習 | レポート課題に取り組むとともに、再度教科書や資料等を読み直し、必要事項をノートに整理する。 | 約2時間 |

**3. 特別支援学級や通級による指導の仕組みとその実際**
○特別支援学級の仕組みと実際を理解する。
○通級による指導の仕組みと実際を理解する。

| | | |
|---|---|---|
| 予習 | 教科書の該当箇所(pp.36-45)及び配付資料を予習しておく。 | 約2時間 |
| 復習 | レポート課題に取り組むとともに、再度教科書や資料等を読み直し、必要事項をノートに整理する。 | 約2時間 |

**4. 特別支援学校及び就学までの支援の仕組みとその実際**
○特別支援学校における教育の仕組みとその実際について理解する。
○就学までの支援の仕組みとその実際について理解する。

| | | |
|---|---|---|
| 予習 | 教科書の該当箇所(pp.46-76)及び配付資料を予習しておく。 | 約2時間 |
| 復習 | レポート課題に取り組むとともに、再度教科書や資料等を読み直し、必要事項をノートに整理する。 | 約2時間 |

**5. 注意欠陥多動性障がいの理解と支援**
○注意欠陥多動性障がいの定義や特性を理解する。
○注意欠陥多動性障がいへの支援のあり方を理解する。

| | | |
|---|---|---|
| 予習 | 教科書の該当箇所(pp.77-89)を読んでおく。 | 約2時間 |
| 復習 | レポート課題に取り組むとともに、再度教科書や資料等を読み直し、必要事項をノートに整理する。 | 約2時間 |

**6. 学習障がいの理解と支援**
○学習障がいの定義や特性を理解する。
○学習障がいへの支援のあり方を理解する。

| | | |
|---|---|---|
| 予習 | 教科書の該当箇所(pp.90-103)を読んでおく。 | 約2時間 |
| 復習 | レポート課題に取り組むとともに、再度教科書や資料等を読み直し、必要事項をノートに整理する。 | 約2時間 |

**7. 自閉症の理解と支援**
○自閉症の定義や特性を理解する。
○自閉症への支援のあり方を理解する。

| | | |
|---|---|---|
| 予習 | 教科書の該当箇所(pp.104-119)を読んでおく。 | 約2時間 |
| 復習 | レポート課題に取り組むとともに、再度教科書や資料等を読み直し、必要事項をノートに整理する。 | 約2時間 |

**8. 情緒障がい・言語障がいの理解と支援**
○情緒障がい、言語障がいの定義と特性を理解する。
○情緒障がい、言語障がいへの支援のあり方を理解する。

| | | |
|---|---|---|
| 予習 | 教科書の該当箇所（pp.120-151)の概略を読んでおく。 | 約2時間 |
| 復習 | レポート課題に取り組むとともに、再度教科書や資料等を読み直し、必要事項をノートに整理する。 | 約2時間 |

| ○授業計画 | 科 目 名 | 特別支援教育論（Special Support Education Theory） | 授業コード | K007301 |
|---|---|---|---|---|
| | 担当教員 | 中尾　正彦 | | |

**学修内容**

**9. 視覚障がい・聴覚障がいの理解と支援**
○視覚障がい、聴覚障がいの定義と特性を理解する。
○視覚障がい、聴覚障がいへの支援のあり方を理解する。

| | | |
|---|---|---|
| 予習 | 教科書の該当箇所（pp.152-181)を読んでおく。 | 約2時間 |
| 復習 | レポート課題に取り組むとともに、再度教科書や資料等を読み直し、必要事項をノートに整理する。 | 約2時間 |

**10. 肢体不自由・病弱等の理解と支援**
○肢体不自由、病弱等の定義と特性を理解する。
○肢体不自由、病弱等への支援のあり方を理解する。

| | | |
|---|---|---|
| 予習 | 教科書の該当箇所（pp.182-209)を読んでおく。 | 約2時間 |
| 復習 | レポート課題に取り組むとともに、再度教科書や資料等を読み直し、必要事項をノートに整理する。 | 約2時間 |

**11. 知的障がいの理解と支援**
○知的障がいの定義や特性を理解する。
○知的障がいへの支援のあり方を理解する。

| | | |
|---|---|---|
| 予習 | 教科書の該当箇所(pp.210-219)を読んでおく。 | 約2時間 |
| 復習 | レポート課題に取り組むとともに、再度教科書や資料等を読み直し、必要事項をノートに整理する。 | 約2時間 |

**12. 愛着（アタッチメント）障がいの理解と支援**
○愛着（アタッチメント）障がいの定義や特性を理解する。
○愛着（アタッチメント）障がいへの支援のあり方を理解する。

| | | |
|---|---|---|
| 予習 | 関係する配付資料を読んでおく。 | 約2時間 |
| 復習 | レポート課題に取り組むとともに、再度教科書や資料等を読み直し、必要事項をノートに整理する。 | 約2時間 |

**13. 外国につながる子どもの理解と支援**
○日本ご指導が必要な子どもについて理解する。
○学校の支援体制や教師の支援について理解する。
○専門機関との連携について理解する。

| | | |
|---|---|---|
| 予習 | 教科書の該当箇所(pp.220-227)を読んでおく。 | 約2時間 |
| 復習 | レポート課題に取り組むとともに、再度教科書や資料等を読み直し、必要事項をノートに整理する。 | 約2時間 |

**14. 貧困家庭の子どもの理解と支援**
○子どもの貧困とその現状について理解する。
○貧困が子どもに与える影響について理解する。
○学校や担任としての支援や配慮について理解する。

| | | |
|---|---|---|
| 予習 | 教科書の該当箇所(pp.228-235)を読んでおく。 | 約2時間 |
| 復習 | レポート課題に取り組むとともに、再度教科書や資料等を読み直し、必要事項をノートに整理する。 | 約2時間 |

**15. これまでの学修のまとめ**
○これまでの学修を振り返り、学んだことを発表したり、まとめたりする。
（○試験や成績等について再確認する。）

| | | |
|---|---|---|
| 予習 | これまでの学修を振り返り、学んだことを整理しておく。 | 約2時間 |
| 復習 | これまでの学修を振り返り、学んだことをまとめる。 | 約2時間 |

**16. 期末試験**
これまでの授業内容について、総合的な試験を実施します。
試験の概要については、事前に連絡します。

| | |
|---|---|
| 予習 | |
| 復習 | |